

ハンドルロック無料貸出キックオフイベントを開催！

～自動車盗難防止キャンペーン・ハンドルロックを無料で貸します～

日本損害保険協会中部支部（委員長：川杉 朋弘・東京海上日動火災保険株式会社 常務執行役員）は、愛知県自動車盗難等防止協議会および愛知県警察と連携し、自動車盗難対策機器ハンドルロックの無料貸出取組みを開始しました。同取組みは、愛知県の自動車盗難認知件数の減少のため、自動車ユーザーに自動車盗難対策機器の有用性を体験してもらい、能動的な盗難対策を促すことを目的としています。

同取組みを広報するため、愛知県自動車盗難等防止協議会および愛知県警察とともに、1月27日（月）にららぽーと愛知東郷でキックオフイベントを開催しました。

当日は、愛知県自動車盗難等防止協議会の及川事務局長から「この取組みを通して、自動車ユーザーの方に能動的な盗難対策をしていただき、愛知県の自動車盗難認知件数の減少に寄与したい。」との挨拶があり、引続き愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課地域安全対策室の墨室長から「愛知県の自動車盗難認知件数は全国ワースト1位で800人以上の被害者がいる。ハンドルロックでの防犯対策は手軽であり、盗難へのハードルが上がる有益な対策である。一人でも多くの方に利用してほしい。」との挨拶がありました。

続いて愛知県自動車盗難等防止協議会から当支部へのハンドルロック贈呈がありました。

最後に、当支部を代表し、副協会長会社である三井住友海上火災保険株式会社の中部損害サポート部富沢部長から「これまで損害保険会社は盗難発生時に保険金をお支払いし、経済的な損害を回復することをメインとしてきたが、事前にもリスクを軽減する活動も重要である。今回の取組みをその活動の第一歩とし、引き続き愛知県自動車盗難等防止協議会や愛知県警察と連携した取組みを実施したい。」との挨拶がありました。

イベント終了後、同会場においてハンドルロック貸出取組みの周知チラシ配布や、貸出の希望があった来場者の申込受付を実施しました。利用者からは、「最近自宅周辺で自動車盗難があり、警察が来ていたので警戒している。家族が盗難多発車種ユーザーなので、貸出を利用してみたい。」という声がありました。

自動車盗難は全国的には減少傾向であるものの、愛知県内では2021年から増加傾向にあり、2023年は809件（11月末時点）で全国ワースト1位となっています。今回のような自動車ユーザーへの直接的な啓発が愛知県内の自動車盗難の減少に寄与することが期待されます。

当支部では引き続き自動車盗難件数減少を目的とした啓発活動を進めてまいります。



<広報チラシ>



<及川事務局長の挨拶>



<墨室長の挨拶>



<ハンドルロック贈呈>



<富沢部長の挨拶>



<貸出品の展示>



<実際の盗難車を展示>



<実際の盗難被害品を展示>



<来場者への周知啓発の様子>